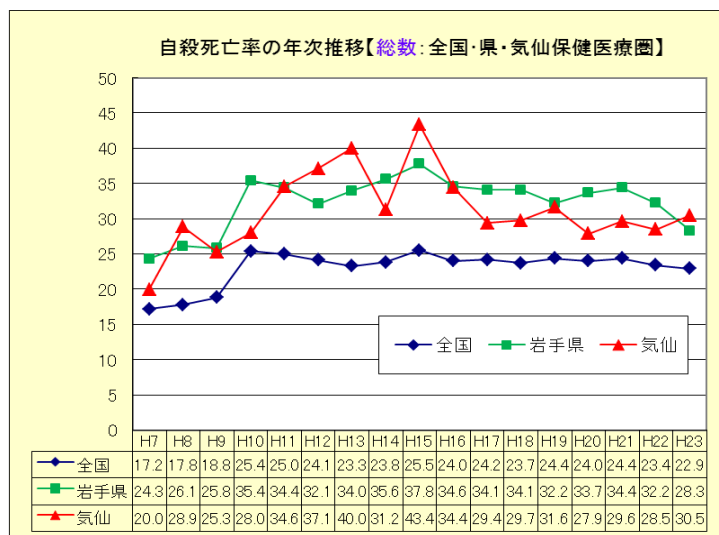
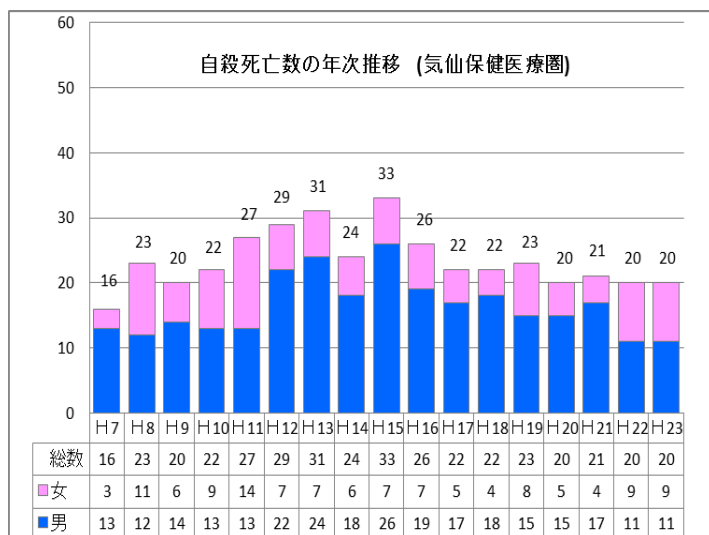


気仙地域自殺対策アクションプラン

～はまってけらいん かだってけらいん～ を合言葉に

全国における年間自殺者数は、去年は97年以降15年ぶりに3万人を下回りました。しかし気仙地域では毎年20人を超える方が自殺され、人口10万人あたりで見ると30人前後で全国より1.5倍くらい多くなっています。



このことから、平成23年11月策定された県の自殺対策アクションプランの方針のもと、市町、関係機関、住民が広く連携・協働しながら、地域特性を踏まえた自殺対策の取組みをしていくための計画として、気仙地域うつ・自殺予防対策推進連絡会と大船渡保健所が中心となり、**平成25年1月地域版のアクションプラン(H24～H26)**を策定しました。

このプランは、東日本大震災津波で多くの住民の命と生活が奪われ、今後、自殺のリスクが増大することが懸念されることから、被災者へのこころのケアや生活支援に重点を置くとともに、すべての住民がお互いの心を癒す場面の大切さの理解を広めようと「はまってけらいん、かだってけらいん」運動を気仙地域全体で取り組んでいくことをキャッチフレーズとし、自殺予防対策を進めていくものです。



この運動が気仙地域に浸透し、住民1人1人がお互いの出会いや繋がりを大切にすることで、こころのケアに繋がっていくことがねらいとしています。

ホームページアドレス→<http://www.pref.iwate.jp/~hp4502/ja2013.html>

岩手県大船渡保健所 気仙地域うつ・自殺予防対策推進連絡会議